



全校が、さらに仲良しになった北小祭り

恒例の北小祭りが13日（木）に行われました。普段は学年毎の活動が多いのですが、この北小祭りの良さは学年の垣根を越えて楽しみながら異学年との交流を図れることです。お店をまわるときは、異学年ペアになり、「次はどこに行こうか?」「混んでいるから、このお店は後で来よう。」などと下級生に声をかけている優しい上級生の言葉が聞こえてきました。逆に、「このお店は難しくないの?」「怖いから離れないでいてね。」と、親に話しかけるような上級生を頼りにしている低学年の声も聞こえてきました。

北小祭りを迎えるにあたっては、児童会本部と6年生を中心にアイデアを出し合ったり、材料を持ち寄ったり、景品や準備品を作ったりと、「全校のみんなに楽しんでもらいたい。」という気持ちの一心で活動している様子が、ひしひしと伝わってきました。また、母親の会の皆様には今回もポップコーン作りをして子どもたち全員にプレゼントして下さいました。ご厚意に深く感謝申し上げます。ありがとうございました。



ディスクロード



おばけやしき受付



ザウル先生も
来てくれました



手作りスライミー



種類豊富な手作り景品



母親の会の皆様による
ポップコーン作り



キングスナイパー



ボーリング



アスレチックパーク



障害物ラン受付



しゃてき屋



かだめし射的



楽しい魚つり



しおり作り



プラバン作り



景品&作品&得点表

民生委員の皆様による学校訪問

18日（火）午後には全学年の授業参観と学校側との懇談会を行いました。授業参観では日頃の子どもたちの授業風景を見て頂きました。懇談会では、各地区民生委員さんから、地区での児童の様子について話を頂きました。話し合いでは、特別な支援を要する児童の話を中心に活発に意見が交わされました。



学校開放日へのご参加ありがとうございました。

18日（火）は授業参観、芸術鑑賞会とご協力頂きまして、ありがとうございました。授業参観では保護者の皆様に見守られていることで、いつも以上に子どもたちもはりきって授業に向かい合っていたような気がします。また、3・4校時の芸術鑑賞会は今年度、劇団影法師による「妖怪影絵劇ゲゲゲの鬼太郎」でした。人間と妖怪の友情をテーマに、美しい色彩で、まるで生きているかのような動きでした。休憩後のワークショップでは学年代表の児童1名ずつが前に出て、貝殻による蛙の鳴き声やうちわに小豆をぶら下げた雨音、小豆による波音、鬼太郎のはいている下駄の音を体験させてもらいました。



こすってクッキリはっきり



話し方、聞き方が上手です



八方位についての教え合い



地図帳での地名探し



少し手強い小数わり算



興味津々、煮干しの解剖



真剣さが伝わってきます



落ち着いた環境でじっくりと



笑顔あふれる学び



カラー版影絵



こんな物であんな音が



児童会の取り組み 感謝の実より

- ① ずっとずっとずーっと〇〇と仲良くしようね。これからもっと、お友達にしようね。これからも仲良くしようね。
- ② いつも登校班の班長になってくれて、ありがとう。いつも〇〇君は楽しいから、登校班が盛り上がるのは〇〇君のおかげだよ。
- ③ 図書室の先生へ。いつも優しい先生が大好きです。もっと本をたくさん読みたいです。これからもよろしくをお願いします。

「動物と人間 ～息絶えたうさぎから思うこと～」を読んだ感想をいただきました。

今日配布された「きたっ子」の動物と人間の話、とても心を動かされました。心痛ましい事件が連日のように続き、子どもにも「信号は青でも渡るな」「人を見たら怪しいと思え」と、なんだかこんな事言うべきなのかなと親自身が思うような事言わなくてはならない…そんな矛盾と切ない気持ちを抱えている中で思いやりの話で心がスッと楽になりました。

折しもテレビで「自尊心とは、できることを褒めるのより、できない事、失敗した事を許す事（受け入れる事）と聞いてハッとしていた所でした。人間にしかできない助ける心、逆に甘える事、その大切さが子どもたちに伝わるといいなと思いました。……

ご感想をお寄せ頂いたことに感謝するとともに、記事を読んでどのようにお感じになったかを伝えていただいたことを大変嬉しく思います。他の皆様からも「きたっ子」を読んだ意見・感想を今後もお待ちしております。

